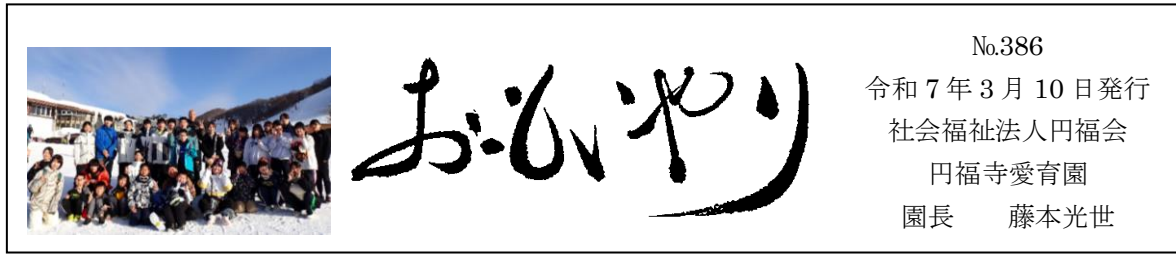


今年のスキー行事は、雪質も良く、快晴の中、思いっきり楽しみました。



## パンドラの箱

園長 藤本光世

ある男の子が数カ月前から急に爪噛みを始めました。4歳で入所して6年も爪噛みなどしたことが無かった子です。どうして始まってしまったのだろう。

数カ月前に入職したばかりのある職員が、他の職員の対応をなじりました。爪噛みに対するあの対応は何だ。暴言だ。園長、ホームに入ってみればいい。そうすれば分かる。ドクターに相談することもしないで。

実は、この職員とその話をしたのは別の件のことがあり、それは、この子に対するその職員の不適切な対応をどう考え、どう責任をとるのかと聞こうと、面接したときだったのです。この職員は、私が質問した問いに答えずに、爪噛み対応に話をずらしました。それは別の話だと何度言っても爪噛みに話をずらすのです。

2時間もかかった面接が終わり、結論が出てから富沢ホーム長にこのことを話しました。すると、彼はこう言いました。爪噛みは、彼が入職してから始まったのではないだろうか。それは、彼がホームの方針とは別な不適切なかわりをこの子にして、それによってこの子の心の中の爪噛みが開いてしまい、始まったのではないだろうか。彼は、これまで他施設に勤務していた時も、上司の方針には従わなかったと言っていました、と報告してくれました。そしてそのうえで、やっとこれでホーム職員がその子の対応を同じにして、優しくかわれると言いました。これまで、彼の悪いかかわりがあったので爪噛みに厳しく対応せざるを得なかったのです。

爪噛みの理由は分かりません。証拠もありません。でも、確かにこの職員が入職してから、長い年月にそんなことがなかった爪噛みが始まったのです。しかし、この職員はそれを認めないでしょう。自分の悪いかかわりをなおそうともしないでしょう。そして、他の職員の関りを非難して、自分を正当化するでしょう。そして議論は果てしなく続き、疲弊し、あきらめてしまうのです。

残念ですがこうなのです。だから、この仕事は難しい。分かってもらえない。辞めてもらうし

かない。

富沢ホーム長は、職員会議で実践者でなければわからない、素晴らしい発言をしてくれました。それは、「いったん始まってしまうと、それを元に戻すのはとても難しい。飛び出しもそうだと。」

この子の爪噛みもなかなか止められない。毎日の朝食の時、この子は私の隣に座っているので、私がかまうのです。「あーまた爪を食べている。もう高学年でしょ。恥ずかしいよ。」すると、その子は恥ずかしそうに止めるのですが、しばらくするとまた始まってしまうのです。「爪、おいしいのかなあ」と、頭をくっつけながら話すと、ニコニコして返してくるのですが、しばらくするとまた指を口にもって行ってしまいます。ホームでも、きっと優しく声掛けをしているでしょうに。

飛び出しも同じです。一度飛び出してしまうと、二度、三度と飛び出して、ついには愛育園に戻らない。だから、そのきっかけをつくらなければならない。でも、そのきっかけは、児相面接にあたり（児相の皆さん、すみません。これはこちらが感じていることで、きっと皆さんはそんなことはないと言うでしょうね。自分たちは正しく、愛育園の養育が良くないと。だから、この仕事は難しい。せめてこの仕事が難しいことを理解して私たちの言葉にも耳を傾けていただきたいです。）帰省の時の悪い習慣にあたり、子ども同士のトラブルと、割って入った職員にあたりです。でも、子どもも児相（すみません）もその責任は愛育園にあると言うのです。たまらないですね。そして、難しいですね。

むかし、多分大学1年か2年の時、父に連れられて父が恩師と言って仰いでいた渡邊薫美師のところに行きました。師はその時床に臥せていましたが、私に二つの質問をしました。

1. ここに杭とひもがある。これで家を建てるための直角をつくりたい、どうやったらいいか。
2. 真実とはどんな条件を満たす事柄であるか。

1は簡単です。皆さんもお考えになってください。2は、分からないでもじもじしていると、それは「普遍かつ必然かつ妥当」のことだと教えてくださいました。この言葉は、それ以来ずっと私の心に引っかかっています。

「いったん始まってしまうと、それを元に戻すのは難しい」はどうなのでしょう。爪噛みや飛び出しだけではなくて、いろいろなことに当てはまるのでしょうか（普遍）。例えば夜更かしとゲーム依存症はどうでしょう。不登校はどうでしょう。薬物やパチンコなどの依存症はどうでしょう。闇バイトや人を傷つける悪い仲間に入ってしまったらどうでしょう。そのほか、人の煩悩に関わることはいったん始まったら、大勢の人を不幸にして、それを元に戻す（止める）には大きな努力と、周りの人々の助けがいるように思います。

必然はどうなのでしょう。上にあげた事柄は、いったん始まってしまうと、元に戻すのは難しいですね。

妥当はどうなのでしょう。この言葉は、いろいろなことに適切でぴったり当てはまっているように見えます。

子育てにおいて、「いったん始まってしまうと元に戻すのは難しい」は真実に近いと思います。だから、常にこの言葉を心に置きたいです。そして、いつも注意して子育てをしましょう。この言葉が、彼の13年の愛育園の養育実践から生まれたというのが凄いなと思いました。実践に裏打ちされた言葉は強いです。

いよいよ卒園式です。今年は2歳から愛育園にいる子を送ります。愛育園の生活で自己を成長させて、難関に合格することができ、目的をもって進学します。富沢ホーム長に、自衛隊に入隊した二人の卒園児に祝電を打ってもらいたいとお願いしました。すると、しばらく連絡がなかった…私は連絡がないのは良い連絡と話しています。自立してきたのです…二人からすぐに電文が入ったメールが送られてきたそうです。私も見せてもらいました。立派です。この子らがこのように立派に育って愛育園とつながっているのは奇跡です。「奇跡」といっても分かってもらえないだろうなあ。でも「奇跡」なのです。

先日、ある地区の更生保護女性会の研修に呼ばれて、お話をさせていただきました。その中で、携帯電話のお話をすると、ほとんどの人が「持たせるべきではない」と答えてくれました。(お話の中でアンケートをとりました)そして、一般の家庭の子は持たせているのにどうして愛育園は持たせないのですか、と責めてきたらどうしますか、と問うと、そうであっても説明して持たせないほうが良いと答えてくれました。私は、これが普通の感覚だと思います。携帯は卒園すればいくらかでも持てるし、その年になると善悪の判断ができて、使い方も間違えないのです。以前、ある養護学校に通う子どもに車の免許を取らせてあげたくて、ダメだという学校に談判に行きました。すると、免許などとらせないで、携帯の使い方を教えなさいと言うのです。児童養護施設の子どもには免許取得の補助金(かなり高額)が支給されるのです。養護学校の子は、社会に出たら、自力で免許はとれないのです。携帯は、時が来れば持てるし、心の判断力が育っていないかぎり、使い方を教えてもダメなのです。そんなことが分からないのかなあ。これが愛育園を取り巻く環境なのです。更生保護女性会の皆さまの正しい判断とは大きく違いますね。

子どもの養育は、その年代によってなすべきことが違います。その時代にしかできないことに精一杯挑戦する。これが幸せへの道ではないでしょうか。

このことは、社会人としても、人生においても同じだと思います。その立場になって、その年代だからできることを精一杯やる。挑戦する。これが幸せへの道であると私は信じています。

## 箸技大会とスキー行事

主任指導員 T.M

2月は7日に国際箸学会さんの主催する「第9回箸技大会」への参加と、15日に「スキー行事」と大きな園内行事が2つありました。

箸技大会では、今年も輝かしい成績を収めさせて頂く事ができました。小学生の部、一般の部、65歳以上の部と3つの部門に分かれているのですが、私たち愛育園は小学生と一般の2部門に参加したのですが、箸ピー、箸リンのどちらの競技でも1位から3位まで全て独占させて頂きました。駅伝ゲーム(団体戦)も優勝でした。第1回大会の参加から勝ち続けさせていただいて、たまに申し訳ない気持ちにもなるのですが、国際箸学会の皆さんは、愛育園の子ども達の参加してくれるおかげで盛り上がり、毎年規模が大きくなっていてとってもありがたいと言ってくれます。

私たちの愛育園の参加が箸技の普及にどれほど貢献できているかは定かではありませんが今年には総参加者数が150名を超えて史上最大規模の箸技大会が行われました。

園の子たちは、箸技に相当の自信を持っているので勝つのは当然と思って臨んだと思うのですが、人の多さや注目で緊張したようで、勝つには勝ったけどいつもの記録を出し切れなかったという子や、箸が震えて上手に豆が運べなかったという子が沢山いました。そんな様子を子ども達から聞いて、今回もとても良い経験をさせてもらったなあと感じました。人前で緊張する中で結果が出せた事や緊張したことを素直に話せる事、周りの参加者さん達から「おお〜」という感嘆と歓声の声を浴びさせてもらえた事など、園内の大会では経験できない経験を沢山させていただきました。そして、そんな良い経験ができたのは箸技に懸けて本気で練習をしてきた子ども達自身の力でもあるので、頑張った事が評価されたり新しい気づきを得た経験が毎日の生活への自信や前向きさに繋がっている様に思います。国際箸学会の皆様、毎年、貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。来年も大会に参加させて頂く事を楽しみにしています。

スキー行事では、みんなで戸隠スキー場に行きました。今年は園長先生が子ども達1人1人にスキーウェアをプレゼントしてくださったり、全体行事のスキー行事以外でもスキーに行く機会を許可してくださいました(「どんどん行っていいよー」)。

去年は、職員の私物の板やブーツをかき集めて、ウェアはお下がりやただのジャンパーで、元飯綱スキー場(無料開放のグレンデ)に行って200mほど自力で坂を登って滑って一回一回脱いでは交換して替わりバンコに遊んでいました。それだけでも子ども達は楽しそうだったのですが、その話を聞いた園長先生が感激されて去年は板やブーツを購入してくださいました。去年はそんな様子を見て、子ども達の人の心を動かす力はすごいなあと感じた事を覚えています。そして、今年はウェアとスキー場です(リフトの動いているスキー場です)。ウェアを買ってくださった時に園長先生が子ども達にその思いをお話してくださいました。3つ話してくださいました。1



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

つ目はみんなが毎日の生活を一生懸命頑張っている様子が伝わってきてとても嬉しい気持ちでいるという事。2 つ目は日頃みんなを外遊びをしているけど、とってもいいことだからもっとももっとも遊んでもらいたいという事。3 つ目は夢中でスキーやスノーボードをやって沢山上達して自信につながってほしい事。



私は思いました。何か物を与えて子ども達のご機嫌を取ったり、何か感謝の様なものを求めたりそういった事が目的ではなく、今のみんなであればウェアやスキー場を有意義なモノにしてくれる。自立の力や心の成長につなげてくれる。そんな想いでお話下さったのではないかと。なので、園長先生は言いませんでしたが、私はつい「でも、こういった事を当たり前に思わず、感謝の気持ちを持って大切に使おうね」とみんなに話してしまいました。

1月のお正月明けからスキー場に行きだして、もうほとんど毎週スキー場に行かせてもらっています。全体のスキー行事に行った時には、みんなすっかり上達した状態でスキーを楽しんでいました。私がえらいなぁと感心したのは、思いっきりスキーを楽しんだり、危険な事や自分勝手な事をしなかったり、園長先生の想いに子ども達が口ではなく行動で応えていた事です。私は、そうは言っても事故やケガが心配だし、スキー場に行く事が当たり前になり過ぎて良くないと思っていたので、ここまで頻繁に行くつもりはありませんでした。けれど、子ども達が園長先生の言葉をしっかり受け止めている事が行動からわかったので、結果毎週行く事になりました。

箒技大会とスキー。2つの経験がこの先もずっと心に残って、日々の生活や将来に生きてほしいなぁと思います。そして、そんな心に残るような経験をもっともって考えて実行していきたいと改めて思いました。

一年を通して、今年も沢山の良い行事ができました。残すは高校三年生Sさんを送り出す「卒業式」です。長一く愛育園で生活を頑張ってきた子ですから、盛大に送り出してあげられるように子ども達、先生方と協力していきたいと思います。

## スキー行事

あおぞらホーム Y.S

2月15日、スキー行事がありました。自分はスキー行事担当でもあり、事故、ケガ、迷子、トラブル等なく無事に終えたことにホッとしています。

スキー行事は大成功で終えることが出来ましたが、それまでのあおぞらホームの子どもたちのスキー事情をお伝えします。

昨年、あおぞらホームではスノーボードに挑戦する中高生がほとんどでした、理由としては昨年、スノーボードをほぼ一人一台の割り当てが出来るように購入して頂いたことです。皆興味を持ち始め少しずつ雪山へ練習しに行くようになりました。もちろん、スノーボードはとても

(令和7年3月10日発行 月刊「円福」534号付録)

難しく初めて滑る子ばかりなので皆転びまくりです。恐怖心もあったと思います、しかしみんな諦めずに何度も何度も挑戦しました。少しずつ滑れるようになったところに昨年の冬が終わり1年が過ぎました。今シーズンも早く雪が降らないかな、と話をしつつ冬を待っているとそこへ朗報が届きました。なんと今年は全員分のスキーウェアを園で購入してもらえることが決まったのです。とてもびっくりしました。私は、園長先生の気が変わらないうちに購入してしまえばこっちのものだ、と思いスポーツ用品店へ走りました。さらには、今までリフト券を使うスキー場へ出かけるのは年に一回のスキー行事の時だけでしたが、今年は園長先生をはじめ、地域の方々、スキー場の方々のご厚意により近くのスキー場を利用させていただけることになりました。そして、子どもたちはほぼ毎週のようにスキー場へ出かけるようになりました。昨年はボードにしり込みして挑戦しなかった子達も他の子が上手になって行くのを目の当たりにして今年は挑戦してみよう、という気持ちになってチャレンジし、どの子もみるみるうちに上達していきました。始めは子どもたちに偉そうに「こうやって滑るんだよ、ああやって滑るんだよ」と言っていた私も正直言って今ではもう子供たちに追い越されてしまったな、と思っています。

そしてもう一つ、ゲレンデには毎回、調理の先生におにぎりを用意していただき、カップラーメンを持っていきお昼にしています。ただのカップラーメンも寒空の下で食べるのはとてもおいしく、お昼に駐車場で皆でワイワイしながら食べるお昼も楽しみの一つになっていていろいろな先生方が協力してくださったことにも感謝しなければと思っています。

自分に自信がなく、心の中では後ろ向きな感情がある子達が、スノーボードを通してそんな自分を破って新たなことに諦めずに挑戦し、転んでも転んでも練習し続けた結果、今ではみんな上達することができました。これはとてもすごい事だと思います。自分の中に「自分の得意な事はスノーボードだ！」と堂々と言っていいくらいみんな上達したのです。それは自分の自信になるものが一つ増えたという事でとても大きなことだと思いました。また、そんな自信をつけるにあたり楽しくあってほしいと願いながら段取りを組んだり、一緒に滑ったりと、その成長過程に一枚も二枚も囁かせてもらい、子どもたちからの「楽しかったよ」「滑れるようになったよ」「上級コースも滑れたよ」という報告が返ってきた時は「やってよかったな」という私自身の自信にもつながり、こちらこそありがとう。という気持ちになった、そんな今年の冬でした。

## スキー行事

まごころホーム H・M

今年も、戸隠スキー場へ子どもたちとスキーへ行ってきました。雲一つもない快晴で、天候に恵まれ、気持ちのいいスキー日和の中滑ることができました。リフトを乗り継ぎ、山頂へ行きました。山々がくっきりと見え、とてもきれいな景色を見ることができました。子どもたちは、山頂に行くことをとても楽しみにしており、何回も「また上まで行こう！」と言い、本当にたくさ

ん滑っていました。約1時間のお昼休憩をとったのみで、滑る気満々の子どもたちでした。体力が本当にあるなと思いました。思い切り体を動かし、存分に楽しんだスキー行事になりました。

### スキー行事 児童感想 あおぞら

僕は、今年初めてスノーボードにチャレンジしました。スキー行事に行く前にまでに、いろいろなリゾートスキー場でひたすら練習したので、スキー行事で戸隠スキー場に行った時には、怖さと不安と心配があったけど、滑ってみたら大丈夫でした。けど、急な所は、まだ木の葉滑りでしか降りられなかったり、狭い道は怖かったです。でも、とても楽しかったです。



スキー行事の後も、いろいろなスキー場に何度も連れて行ってもらいました。僕は、ひたすら練習して段々うまくなっているのがわかってとても嬉しい気持ちになりました。一番最近は、3月2日に行きました。その時は、クルクル回るヘリコプターという技をみんながやっているのを見て僕もやってみました。バランスが崩れて転びそうになったけど、練習していたら急にできるようになりました。とてもドキドキして、先生に「できたよ！」って言ったら、「みてたよー」と言ってくれました。僕は今まで、スキーは出来ていたけど、スノーボードがこんなにもできるようになれるなんて思っていなかったの、すごく嬉しいです。(中2 A・S)

2月15日に戸隠スキー場に行きました。今年は、当日の前までに4回くらいいろいろなリゾートスキー場に連れて行ってもらって練習したので大分滑れるようになって当日を迎えました。

僕は、スノーボードをやりましたが、去年は右ターンしかできなくて、みんなからかなり遅れてしまいました。だけど練習したおかげで左のターンができみんなについていく事ができたのがとても嬉しかったです。普通に滑るのができるようになって、今度は回ってみようかとやってみましたけど倒れてしまってめちゃくちゃ痛かったです。ですが、天気も景色もとっても良くて、最高に楽しかったです。(中2 M・H)

僕は、去年のスキー行事でまったく滑る事ができずにずっと転んでいました。その後、自分で登って滑るスキー場で練習して、少し滑れるようになりました。

今年はスキー行事の前からスキー場に連れて行ってもらって練習できました。僕は、スピードを出すのはまだ怖いけどすごく上手になったと思います。全体のスキー行事の日がとっても楽しみでしたが、直前に水疱瘡になってしまい行けなくなって本当に悲しかったです。ですが、その後もスキー場に連れて行ってもらい、本当に上手くなりました。最初はスノーボードの上に乗るだけでも怖かったのに、今では他のみんなと同じくらいのレベルまで上手くなったと思っています。

す。みんなと同じくらい滑れるようになりたい。負けたくない。と思いながらやったのがコツです。沢山スキーに行けて嬉しかったです。(中2 K・R)

僕は今年何度もスノーボードに行けました。今年一気にレベルが上がって、滑っていて今が一番楽しいです。こないだ行った時は、ジャンプして180度回転する技をついにできるようになりました。しかも、1回回転ジャンプをした後に、すぐに2回目の回転ジャンプをするのもできます。他にもヘリコプターや、片方だけ浮かせて滑るオーリーという技もできます。去年は全然滑れなくてリフトに乗る事もできなかったのにすごく成長しました。一緒に行ってくれているT先生は「まだちょっと先生の方が上手いね」と言っていますが、僕はもう僕の方が上手いと思っています。園長先生のおかげでスノーボードが滑れるようになったので、とても感謝しています。最高の気分です。(高1 K・K)

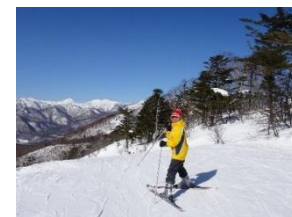
### スキー行事 児童感想 まごころ

2月15日に、戸隠スキー場へスキーをしに行きました。楽しかったことは2つあります。

1つ目は、滑る感覚を忘れていなかったの、すぐリフトに乗る事ができたことです。初めの方は、足が痛くなく滑っていたけど、3本目ぐらいから足が痛くなりました。足が痛くなる前は、楽しく滑っていたけど、足が痛くなってから滑るのが少し怖くなってしまいました。午後は、少し休憩をしてから、2本滑りました。2本目は、氷に躓いて転んでしまいました。体が痛かったです。

2つ目は、幼児さん2人とキッズパークでソリで遊んだことです。久しぶりにソリをやったので、とても楽しかったです。

スキーに行かせてくれた園長先生、引率してくれた先生方、ありがとうございました。



今年度の行事も、あと卒園式だけになってしまいました。十六年間、お世話になった愛育園に感謝の気持ちを持ちながら約1ヶ月生活したいです。(高校3年・Sさん)

一年ぶりにスキーに行きました。まずは、慣らすために初級コースから行きました。久しぶりにやるので最初は滑れるか心配だったけど、だんだんやっていくうちに去年の滑り方を思い出してスピードをコントロールできたので良かったです。そして、午前中の最後に2回程少し上の中級コースに行くことができました。たくさんスピードが出て楽しかったです。

その後、レストランに行って昼食を食べました。でも、とてもたくさんの方がいて、テーブルを探すところからはじまって少し大変だったけど、途中で席を譲ってもらい食べる事ができまし

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

た。私は、去年と同じヒレカツ重と、あんこのおやきを食べました。両方ともとても美味しかったです。午後は、頂上まで行くことができました。頂上まで行くと少し急だったので、たくさんスピードが出ました。そこでストックが板に引っ掛かり転んでしまいました。そして靴が板から外れてしまい、付けようとしたけどなかなかはまりませんでした。なので、M先生に手伝ってもらい履くことができました。その後は、もうストックが引っ掛からないようにストックをあげて滑りました。そして午後は、頂上まで何回も登り、たくさん滑ることができたので良かったです。一年ぶりで去年みたいにたくさん滑れるか最初は不安だったけど、快晴の中たくさん滑ることができたので良かったです。また、事故やケガもなく楽しく行くことができたので良かったです。快晴だったので、頂上からたくさんいい景色を見られたので良かったです。

(中学一年・Hさん)

## 第9回国際箸学会箸技大会

まごころホーム長 I・S

2月8日に行われた第9回国際箸学会箸技大会に今年も参加させていただきました。

今年の大会の参加者が150名もいると聞き、子どもたちもドキドキわくわくしながら大会当日を迎えました。会場には大勢の方が来ていて、少し緊張地味の子もたちではありましたが、いざ競技が始まると自分のプレーに集中して取り組んでいる姿が見られ、その集中力にさすが！！と思いました。また個人戦だけでなく、団体戦もホームから5名の代表者を選出し競技にあたりました。去年の大会ではまごころチームが優勝したので、今年も優勝を目指し子どもたちが率先し作戦を立て戦いに挑んでいました。結果見事優勝することができ、みんなとても嬉しそうでした。記録が伸びず入賞できなかった子も、一生懸命やったことが達成感に繋がり、やりきった！！

という何ともいい表情をしていました。箸技を通して子どもたちの集中力や自分自身の心と向き合いながら記録を伸ばそうと努力し毎日の練習に励んでいました。本番では自分の持っている力を出し切ることができ、とてもよかったと思います。国際箸学会の皆様今年もありがとうございました。



## 第9回国際箸学会箸技大会

あおぞらホーム F・K

2月8日に第9回国際箸学会箸技大会が開催され、円福寺愛育園は今年も参加させていただきました。

円福寺愛育園では、大会の1週間前に園内行事としての箸技大会も行っていました。そのため、園内行事前の2週間と園内行事から国際箸学会箸技大会までの1週間の合計3週間の練習

(令和7年3月10日発行 月刊「円福」534号付録)

期間がありました。この練習期間中の子ども達の様子を見ていると記録が伸びて嬉しそうにしている子がいたり、思うように記録が伸びずに悔しそうにしている子がいたり、子ども達の色々な表情を見ることが出来ました。

大会当日、会場に入ると例年よりも大勢の参加者がおり、子ども達も少し緊張した様子がありました。開会式では、小学3年生のAくんが選手宣誓を行いました。沢山の人の前で堂々と選手宣誓を行う姿は、本当にすごいなと思われました。

愛育園の子ども達の競技が始まると、子ども達のスピードに会場にいる他の参加者が驚くような声が聞こえてきたり、決勝では小学生の部と一般の部の両方とも愛育園の子ども達が独占すると、なぜだか参加してない私も「愛育園の子ども達はすごいだろ」と誇らしく感じました。

毎年、箸技大会は園内でも行事を行い、国際箸学会さんの主催する箸技大会にも参加させて頂いていますが、子ども達が「1位を目指そう」「記録を伸ばそう」と必死に練習する姿や結果はどうであれ大会本番に全力で勝負する姿、それにより喜んだり悔しがったりする姿を見ると、子ども達のどんなことでも全力で挑戦できる力は本当に凄いなと感じ、私も力を貰うことが出来ています。また来年も子ども達の全力の姿が見られることが楽しみです。

## 第9回国際箸学会箸技大会 児童感想 あおぞら

2月8日の土曜日に埼玉県で行われた箸技大会へ行ってきました。最初にフジテックという会社へ見学に行きました。鉄などを曲げる会社で、色々な場所で曲げる技術が使われていてとても面白かったです。その後は昼食を食べて箸技大会の会場へ行きました。箸ピーの予選では、合計227個で、キング決定戦では222個でした。次に箸リンの予選では、合計101個、キング決定戦では106個と自己記録を更新できて嬉しかったです。箸ピーと箸リン両方とも1位で嬉しかったです。箸リンでは、同い年のY君と同じで1位でした。団体戦の予選では1位だったけど、キング決定戦ではまごころホームに負けて悔しかったです。来年は団体戦で、まごころホームに勝ちたいです。来年も箸技大会に参加したいです。(小5 A・Y君)

2月8日土曜日に僕は初めて埼玉県であった国際箸技大会に参加してきました。僕は練習では箸ピー184個が最高記録でしたが、大会本番では178個しかいかず、とても悔しかったです。ですが、今回初めてキング決定戦に出場することができました。1位にはなれなかったけど、キング決定戦に出ることができてとても嬉しかったです。僕は左利きなので、左ではいつも良い記録が出るのですが、利き手ではない右手ではあまり記録が出せないの、来年は右手でも良い記録が出せるよう、右手もいっぱい練習していきたいです。また、来年の大会では予選でも良い記録が出せるように頑張りたいです。(小6 Y・K君)

## 第9回国際箸学会箸技大会 児童感想 まごころ

### 「第9回箸技大会」

2月8日に埼玉県川口市に行き、箸技大会に参加しました。短時間の練習を大切に、毎日頑張ってきました。約150人の人が競技に参加しました。私は、本番に弱いのですがすごく緊張しましたが、いつも通り頑張りました。箸ピー、箸リンどちらも自分で思っていた結果にはならなかったですが、箸ピーチャンピオン決定戦で一般の部で自分の名前が呼ばれたので、その時はすごく嬉しかったし、もう一度諦めずやってみようと思いました。結果、予選より何個か増えたので良かったです。駅伝(団体戦)では、愛育園まごころチームとして私も参加しました。チームのみんなと協力して優勝することができたので嬉しかったです。チームのみんなに感謝です。ありがとう。来年に向けて、また頑張っていきたいです。(高2 Rさん)

### 「はしわざたいかい」

はしりんがんばりました。つみびいががんばりました。はしびいががんばりました。ばすでごはんをたべました。(年長 Aさん)

## あおぞらホームだより

あおぞらホーム S・K

寒暖差の激しい日々が続いていますが、子どもたちは元気に過ごしています。今月は「箸技大会」と「スキー行事」という二つの大きな行事がありました。

箸技大会では、子どもたちが練習の成果を存分に発揮し、緊張しながらも一生懸命取り組んでいました。特に、小学生の部で「箸技」と「箸ピー」の二冠を達成した子がいました。その子が真剣に練習に励む姿を見てきたこともあり、努力が実を結んだことに心温まる思いでした。

スキー行事では、子どもたち全員が思い切り楽しむことができました。中学生の中には、今シーズン初めてスノーボードに挑戦する子もいましたが、その上達の早さには驚かされました。大きな怪我もなく、充実した一日を過ごせたことを嬉しく思います。

来月には卒園式が控えています。子どもたちと協力しながら準備を進め、心に残る素晴らしい式にしたいと思います。

## まごころホームだより

まごころホーム T.S

今年度も残すところあとひと月ほどになりました。3学期も後半になり、期末テストがあったり、最後の参観日があったり子どもたちもまとめの時期です。今年度、まごころホームには幼稚

園を卒園する年長児が2人、高校を卒業し愛育園から巣立っていく高校3年生が1人います。年長さんたちは幼稚園でも愛育園でも「もうすぐ小学校だね」という話をたくさんされているので、少しずつわくわくした気持ちを感じられています。そして、高校3年生のSさんはいよいよ卒園ということで、先日無事念願の看護学校に進学を決め、今は自動車教習所に通う日々です。最初の頃は「運転がうまくいかない!怖いから通いたくない!」と不安がっていましたが、だんだんと慣れてきて、仮免取得も乗り越えました。こうやって卒園後も一つ一つ乗り越えていくんだろうなと思いました。大変なこともたくさんあると思いますが、頑張っていってほしいです。残りの1カ月、まごころホームのみんなと楽しい思い出を作っていきたいです。

## 調理室だより

調理員 M・C

2月は10年ぶりの大寒波で、日本海側をはじめ各地で大雪の被害が出ています。幸い長野地域では大きな被害は出ておらず、その分スキー場は十分な降雪に恵まれ休日には子供たちがスキーに出かけてエンジョイしています。

子供たちの楽しそうな土産話を聞くにつけ、こちらもうれしくなります。冬の寒さにも負けずに元気に過ごす姿に頼もしさを覚えるほどです。

そして、2月には「節分」がありました。豆まきで鬼退治はできたんでしょうか?

元気な子供たちに「福」がくることを願っています。

### 《今月の特別メニュー》

- ・2月2日(日) 恵方巻き(土田様より)・  
お豆のサラダ・豚汁
- ・2月14日(金) バレンタイン特別メニュー・  
チョコプリン

